

平成24年度
実施事業

事務事業名	特別支援教育推進経費（中学校）
-------	-----------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	③特別支援教育体制づくり
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行うことにより、心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行った。 【事業実績】 ・特別支援学級数 4校 8学級 ・生徒数 18人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	今後も生徒の状況に即した教育環境を更に整備し特別支援教育の推進を図っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	585	513	760	760	760
事業費 合計			585	513	760	760	760

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 特別支援学級数	学級	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	9	8			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《 Check 》
<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>心身に障がいのある児童に対し、その障がいの状態、能力、特性等に応じた適切な教育の場を確保し、児童一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばす教育を行う。</p>	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>児童の障がいの状態、能力、特性等に即した教育環境を更に整備し、より充実した特別支援教育の推進を図る。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>本事業は教育の機会均等の理念に基づき実施されている。市が障がいのある児童のために教育環境の整備を行うことは妥当である。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>特別支援教育の推進を図る上でも必要な事業である。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>状況にもよるが、事業を実施するに際、必要最低限の選定を行うこととしている。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>特別支援学級において、障がいの状態、能力、特性等に合った教育環境で学習することにより、個々の持っている能力と個性を最大限に伸ばし、自立や社会参加を促進させるものと考えている。</p>

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>特別支援教育の推進を図るために必要な事業であるため。</p>
-----------	-----------------------------	-----------------------------------

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	<p>備考</p>	
-----------	-----------	--